



ふくちもとひろ 基弘

県政だより vol.79

INDEX

- 1兆938億円の一般会計当初予算等が上程
- 2月臨時会で新型コロナウイルス緊急対応予算が成立
- インターン生の受け入れを開始

<http://ameblo.jp/fukuchi-motohiro/>

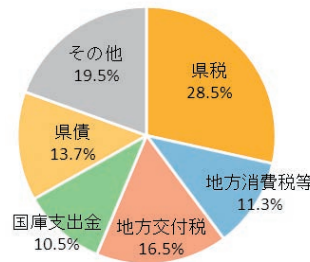
連絡先：ふくち基弘 事務所
 住 所：広島県広島市西区己斐上2-36-7
 電話/FAX：082-271-5369

1兆938億円の一般会計当初予算等が上程

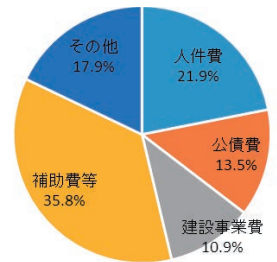
2月15日に広島県議会2月定例会が開会し、一般会計総額1兆938億4,000万円、特別会計5,262億円、企業会計813億円の令和3年度当初予算案などが上程されました。3月15日までの会期中に新年度予算についての審議を予算特別委員会を設置して集中的に審査を行なっています。ふくち基弘は予算特別委員会の委員に選任される予定です。

一般会計歳入・歳出総額 1兆938億4,000万円

歳入の構成



歳出の構成



令和3年度の主な施策

- 新型コロナウイルス感染症対策の強化 … 計452億円
 - ・感染者の早期発見 27億円
 - ・感染防止の徹底 14億円
 - ・医療従事者への支援 11億円
 - ・病床の確保 1億円
- デジタルトランスフォーメーションの推進 …… 7億円
- 持続可能な医療・介護提供体制の構築 …… 52億円
- 主体的な学びを促す教育活動の充実 …… 53億円
- ハード・ソフト一体の防災・減災対策 …… 241億円
- 治安・暮らしの安全の確保 …… 24億円

- ・事業者支援 313億円
- ・雇用維持対策 3億円 etc.

- 県経済発展に向けた産業振興 …… 901億円
- 子育て環境の充実 …… 5億円
- イノベーション立県の実現 …… 22億円
- 生産性の高い農林水産業の確立 …… 2億円
- 7月豪雨災害対応 …… 170億円

MOTOHIRO FUKUCHI

令和3年度の広島県の予算の概要は下記のとおりです。

一般会計予算の概要

| | |
|----------|---------------|
| 歳入歳出予算額 | 1兆938億円 |
| 歳入内訳 | |
| 県税 | 3122億円(28.5%) |
| 地方交付税 | 1807億円(16.5%) |
| 国庫支出金 | 1150億円(10.5%) |
| 県債 | 1499億円(13.7%) |
| 歳出内訳 | |
| 人件費 | 2399億円(21.9%) |
| 公債費 | 1471億円(13.5%) |
| 建設事業費 | 1195億円(10.9%) |
| 市町交付金 | 1552億円(14.2%) |
| 社会保障費 | 1393億円(12.7%) |
| 特別会計予算額計 | 5261億円 |
| 企業会計予算額計 | 813億円 |

郵便はがき

〒733-8790
 広島市西区己斐上 2-36-7

広島県議会議員
 ふくち基弘 事務所 行



差し支えなければご記入下さい。

| | |
|------|-------|
| お名前 | (男・女) |
| ご住所 | |
| 電話番号 | |

差出有効期間
 令和3年5月
 31日まで



料金受取人控郵便

2月臨時会で新型コロナウイルス緊急対応予算が成立

2月3・4日の2日間の日程で2月臨時会が開かれ、新型コロナウイルス感染症への緊急対応に対する55億円の補正予算案について審議を行い可決成立しました。

特に議論となったPCR検査の集中実施10億円について、県からは無症状者・軽症者からの感染をできる限り遮断することで、感染を徹底的に抑え込むために行うものであり、実施効果の試算として、約2300人～3900人の2次感染を抑えられること、その結果、医療費を約11億円～19億円抑えられること、消費の減少を約59億円～92億円抑えられることなどが説明されました。

PCR検査は「いつでも、どこでも、誰でも」受けられるようにすべき、と考えており、対象は限定されますが、医療体制をひっ迫させないことや経済の早期回復を図るために必要な手段と考え、議案に賛成しました。なお、2月9日現在で広島市の1週間の人口10万人あたり新規感染者数が2.3人となり、皆様のご協力の結果感染者が急減していることから、部分的に試行することとなりました。



2月臨時会で質疑を行う
龍本実議員

龍本実議員(広島市佐伯区)

(質問)対象者が安心してPCR検査に臨むことができるよう、陽性発覚後のフォローについて、広島市等の関係機関との調整状況は。

(答弁)県と広島市の適切な役割分担のもと、保健師の派遣や患者運送支援などにより、保健所業務の負担軽減を図る。また、毎日約100人の感染者が発生しても対応できる体制と、医師・看護師を配置し症状の急変時にも迅速に対応できる体制を整備している。

インターン生の受け入れを開始

ふくち事務所では春夏の年2回現役大学生をインターン生として受け入れています。今年も2月初めより、春の議員インターンシップの受け入れがスタートしました。今期は2名の大学生(1・2年1人ずつ)がインターン生として活動しています。開始直後ですが、今回の県政だよりではインターン生が独自にテーマを設定し、作成した記事をご報告させていただきます。

コロナ禍での大学生のアルバイト事情

新型コロナウイルス感染症のまん延により人々の生活環境が大きく変わりました。その中でも今回は私たち大学生のアルバイトへの影響について報告します。

Q. コロナ禍前と今で変わったことは？

・大学1年生(塾講師)

塾には至近距離での会話が伴うため、フェイスガードの使用、検温を含めた体調管理の徹底を余儀なくされた。授業形態も遠隔授業の準備が進められている。

・大学2年生(飲食)

休業要請と外出自粛により出勤時間、収入がかなり減った。休業中は営業の中心をデリバリーにすることで何とか仕事がある状態だ。

MOTOHIRO FUKUCHI

無料PCR検査の受検を希望されますか？

希望する 希望しない どちらともいえない その他()

理由をお書きください。

ご意見・ご質問などございましたら、ご自由にお書きください。

インターン生から一言

・広島修道大学1年 久万柊人

私は、このインターンシップで、地域の方々との交流や社会生活での大切なマナー、そして、政治に関する内容を「知識」として学ぶだけでなく、実際に行動を通して「経験」として理解を深めるようにしたい。全力で出来る限りのことを尽くして有意義なものにしていきたい。

・広島市立大学2年 橋本陸

政治に元から興味があった私には、このプログラムは非常に魅力的だった。実際に行われている政治を内側から学ぶ機会は滅多にないため、貴重な経験になると考える。積極的に質問や疑問を投げかけ、臆病な態度は取らないように心がけようと思う。活動の毎日で何か吸収できたと思えるようなインターンシップを自分の力・行動で作りたい。